

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 14 回)

●「環境的に持続可能な交通を目指して」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 松橋啓介】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 14 回)

●「新潟市における環境的に持続可能な交通を目指した取り組みについて」

【新潟市都市政策部都市交通政策課 課長 松田暢夫】

3. ニュース／トピック

●デュアルモードの導入促進に関する実証運行案件の決定について【国土交通省】

●平成19年度地域公共交通活性化・再生事業費補助事業補助事業実施計画の公募開始について【国土交通省】

●平成19年度グリーン物流パートナーシップ推進事業(2次募集)の推進決定について【経済産業省、国土交通省】

●第 11 回「エコルールマーク」認定について【国土交通省】

●「市中心部荷さばき駐車社会実験」を実施します【仙台市】

●秋の行楽・校外学習に最適 「秋のジュニアパス」を発売【仙台市】

●公共交通でおでかけウィークエンド事業【富山市】

●都バスへの第一世代バイオディーゼル燃料の導入について【東京都交通局】

●箱根芦ノ湖パーク&サイクル、箱根大涌谷パーク&ウォーク【神奈川県小田原土木事務所、箱根町】

●津市で無料ループバス運行中！【三重県】

●「鉄道の日記念・JR全線乗り放題きっぷ」の発売について【東日本旅客鉄道】

●“猛暑でクルマも夏バテ”ーバッテリートラブルがトップ【日本自動車連盟】

●いすゞと日野、排出ガス後処理システムおよび大型トラック用キャブの共同開発について基本合意【いすゞ自動車、日野自動車】

●神奈川県による東京電力業務用電気自動車の実証試験への参画について【富士重工業】

●小学校高学年向け社会科学習用小冊子を発行ならびにインターネット HP にハイブリッドカーの学習ゲームを新設【トヨタ自動車】

●「2007 年 小学生自動車相談室」を開設【三菱自動車】

4. イベント情報

- 中部・北陸信越 EST 創発セミナー
- 九州 EST 創発セミナー
- 中国・四国 EST 創発セミナー
- つくばエクスプレス開業 2 周年記念イベント「まちづくりシンポジウム」
- 環境にやさしい新しいライフスタイルと交通
- スマートウェイ2007シンポジウム(スマートウェイ2007同時開催)
- AHSシンポジウム(スマートウェイ2007同時開催)
- 土木学会セッション(スマートウェイ2007同時開催)
- ファミリー鉄道展 2007

5. その他

- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 14 回)

- 「環境的に持続可能な交通を目指して」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 松橋啓介】

(国立環境研究所社会環境システム研究領域主任研究員)

2007 年に入って低炭素社会に向けた議論が急速に活発になっています。そうした中、6 月に京都と東京で開催された国立環境研究所の公開シンポジウムで、市民向けの講演をする機会がありました。環境的に持続可能な交通の中長期的なビジョンについて解説するとともに、聴衆に対して「具体的にどういう取り組みをしていったらよいのか」という観点から以下の 3 つのメッセージを伝えました。

一つ目は、一人一人の日々の地道な努力の積み重ねとして、交通手段を選ぶ際に徒歩・自転車や公共交通手段をできるだけ選ぶようにすることです。ただし、所要時間や費用があまりに異なる場合には、努力の割に小さな効果しか得られません。二つ目は、機会は限られますが効果の大きい決断として、移動の出発地や目的地を選ぶ際に徒歩・自転車や公共交通手段を使いやすい地域を選ぶようにすることです。住まいや勤め先の地域選択は、買い物やレジャーの地域選択に比べると容易ではありませんが、その後の交通行動やそれに伴う環境負荷量を左右する大きな決断になります。三つ目は、地域社会の将来を左右する意思決定として、徒歩・自転車や公共交通手段を使いやすい社会になるように制度やまちをつくる取り組みに関わるようにすることです。自分が今現在使っている交通手段がもっと便利になれば良いなと短絡的に考えてしまいがちですが、老後の自分・家族・子孫・地域の人々にとってもまた環境面からも望ましい交通体系を長期的な視点から考えていくことで、低炭素社会に向けた備えとなります。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 14 回)

- 「新潟市における環境的に持続可能な交通を目指した取り組みについて」

【新潟市都市政策部都市交通政策課 課長 松田暢夫】

新潟市は平成 17 年に周辺 13 市町村との広域合併を経て、本年 4 月に本州日本海側初の政令指定都市として船出をしました。

本市は、豊かな自然・田園と高次都市機能が調和・共存するこれまでにない新しいタイプの政令市として、交通体系と一体となった集約型の都市構造の形成を図り、持続的な発展を目指しています。

一方で、近年の地球温暖化をはじめとする地球環境問題が深刻さを増す中、本市においても自動車分担率は約 7 割と高く、公共交通の利用者が年々減少しています。

また、本市における二酸化炭素排出量の約 2 割を運輸部門が占めており、都市交通の分野において、公共交通の利用促進による過度な自動車依存からの転換や道路混雑の緩和等による環境負荷の少ない都市交通への取り組みが求められています。

本市は、平成 17 年度にESTモデル事業実施地域に指定され、初年度となる 18 年度には、基幹公共交通軸に位置づけられる弁天線を対象にPTPSの導入や運行経路の変更によるバスサービスの改善を行うとともに、軌道系交通手段がない白根方面と新潟駅を結ぶ急行バスの運行、JR 信越本線亀田駅でのP & R社会実験などを実施しました。

今後も人と環境にやさしい公共交通を軸としたハード・ソフト両面からなる戦略的な交通施策を推進することとしており、一層の環境改善が図られるよう、関係者と連携し積極的な取り組みを進めていきたいと考えています。

さらに、本市は今年 6 月に全国 13 都市目のオムニバスタウン指定を受け、「便利で・乗りやすく・分かりやすい」バスの実現に向けて、(仮称)にいがた基幹バスの運行やICカードの導入といった新たな施策により、バスの利便性向上と利用促進を図っていきます。

<http://www.city.niigata.jp/info/kotsu/omnibustown/keikaku/omnibustown-keikaku.html>

3. ニュース／トピック

●デュアルモードの導入促進に関する実証運行案件の決定について【国土交通省】

国土交通省では、IMTS、水陸両用車、DMV等、鉄道、バス等といった既存の輸送モードには分類できず、これらの輸送モードにまたがって運行するような新たな輸送サービス(デュアルモード)の普及・促進を図るため、デュアルモードの導入促進に関する実証運行案件の公募を行いました。審査の結果、熊本県南阿蘇地域を実証運行案件として決定しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010827_.html

●平成19年度地域公共交通活性化・再生事業費補助事業補助事業実施計画の公募開始について【国土交通省】

国土交通省では、平成19年度、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が成立したことを受けて、以下の取組を行うための経費の一部を補助することとしました。対象となる取組：同法律に規定する「地域公共交通総合連携計画」を策定するために必要な調査、同連携計画に基づいて行われる公共交通サービスに関する情報提供、ノーマイカーデ

一等利用促進活動、利便性向上のための情報提供システムの開発。9月28日まで「補助事業実施計画」の公募(2次募集)を致します。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010831_.html

●平成19年度グリーン物流パートナーシップ推進事業(2次募集)の推進決定について【経済産業省、国土交通省】

グリーン物流パートナーシップ会議では、平成19年度に行う荷主企業と物流事業者が協働して取り組むグリーン物流パートナーシップ推進事業(2次募集)を募集しました。同会議において提案の内容を審査した結果、普及事業9件(モデル事業は0件)について推進決定しましたので、お知らせします。

<http://www.meti.go.jp/press/20070906002/20070906002.html>

●第11回「エコレールマーク」認定について【国土交通省】

エコレールマークとは、環境にやさしい鉄道貨物輸送を活用して、地球環境問題に積極的に取り組んでいる商品・企業であることを表示するマークです。今回の認定により、合計13商品・36企業がエコレールマークの認定を受けました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/08/080914_.html

●「市中心部荷さばき駐車社会実験」を実施します【仙台市】

仙台市中心部では、商業・業務機能が集積しており、その経済活動に伴い物資等の流動も多く、貨物車の荷さばきのための路上駐車も多いことから、道路の交通混雑や通行の安全性の低下を招いています。このたび、地域にふさわしい荷さばき駐車施策について検討するにあたり、荷さばき駐車に関する社会実験を行い、その有効性などについて検証します。

<http://www.city.sendai.jp/soumu/kouhou/houdou/07/190914jikken.html>

●秋の行楽・校外学習に最適「秋のジュニアパス」を発売【仙台市】

仙台市では、2学期制による秋季休業日や総合的な学習の時間における校外学習などに際して、小中学生を対象として市内の移動に便利で割安感のある乗車券を発売しました。乗客誘致を図るとともに、次代の利用者にバス・地下鉄の楽しさや利便性を広くアピールしたいと考えています。

<http://www.city.sendai.jp/soumu/kouhou/houdou/07/190829pass.html>

●公共交通でおでかけウィークエンド事業【富山市】

富山市では、9月22、23、24日の三連休の間、富山ライトレール、市内電車、まいどはやバスを無料で運行します。期間中は一部でパーク&ライドも無料になります。この期間に公共交通機関を用い、富山市内へお越してください。

<http://www.tmo-toyama.com/what's%20new/muryou/>

●都バスへの第一世代バイオディーゼル燃料の導入について【東京都交通局】

東京都は、地球温暖化対策の一環として、自動車燃料に由来するCO₂を削減するため、都バスの一部の車両に第一世代バイオディーゼル燃料を率先して導入します。再生可能なエネルギーの普及促進に向けて、都バスの営業運行を通じ、バイオディーゼル燃料の効果を検証します。

http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/newsevent/news/bus/2007/bus_p_200709121_h.html

●箱根芦ノ湖パーク&サイクル、箱根大涌谷パーク&ウォーク【神奈川県小田原土木事務所、箱根町】

神奈川県箱根町芦ノ湖及び大涌谷周辺にて、「パーク&サイクル」「パーク&ウォーク」実験を実施中です。ご利用者の方には、特製観光手形や乗り物割引特典なども付いています。3箇所150台規模の駐車場を用意しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/1914/odo/odo-index.htm>

●津市で無料ループバス運行中！【三重県】

津市では、中心市街地と郊外の観光スポットを結ぶ無料のループバスを、11月25日まで期間限定で運行しています。期間中は、「津らくらフェスタ」と銘打って、各地でイベントが開催されます。

<http://www.pref.mie.jp/TOPICS/2007080322.htm>

●「鉄道の日記念・JR全線乗り放題きっぷ」の発売について【東日本旅客鉄道】

JRグループでは、10月14日の「鉄道の日」に合わせて、親しみやすい普通列車の旅を満喫していただくため、JR全線の普通・快速列車の普通車自由席が乗り降り自由な「鉄道の日記念・JR全線乗り放題きっぷ」を9月28日から発売します。

http://www.jreast.co.jp/press/2007_1/20070906.pdf

●“猛暑でクルマも夏バテ”ーバッテリートラブルがトップ【日本自動車連盟】

JAF(日本自動車連盟)はこのほど、8月11日から19日までの夏季繁忙期間(お盆をはさんだ9日間)に全国で実施したロードサービス状況をまとめました。それによると、路上故障車救援などの実施件数は9万6765件で、前年同期に比べて1270件増加(1.3ポイント増)しました。

http://www.jaf.or.jp/profile/news/file/2007_12.htm

●いすゞと日野、排出ガス後処理システムおよび大型トラック用キャブの共同開発について

基本合意【いすゞ自動車、日野自動車】

いすゞ自動車と日野自動車は、本日、ディーゼルエンジンの排出ガス後処理システムおよび大型トラック用キャブを共同開発することで基本合意しました。この基本合意に関して両社は、それぞれの持つ先進技術を活用し、開発資源の効率的な運用を図ることで、今後一層の厳格化が進む各国環境規制への対応等に伴うコスト負担を軽減するとしています。

<http://www.hino.co.jp/j/corporate/newsrelease/pressrelease/detail.php?id=167>

●神奈川県による東京電力業務用電気自動車の実証試験への参画について【富士重工業】

東京電力と富士重工業は、平成17年9月より、東京電力の業務用車両に適した電気自動車の実証試験を共同実施していますが、このたび、神奈川県が実証試験に参画することとなりました。具体的には、両社が製作した「スバルR1e」をベースとした実証試験車両をモデル車両として、県庁や出先機関が業務で活用する予定です。

http://www.fhi.co.jp/contents/pdf_38121.pdf

●小学校高学年向け社会科学習用小冊子を発行ならびにインターネットHPにハイブリッドカーの学習ゲームを新設【トヨタ自動車】

トヨタ自動車は、昨年に引き続き、小学校高学年向け社会科学習用小冊子「めざせ自動車王 クルマまるわかりブック」を発行し、希望の小学校および小学生に35万部を無料配布します。また、インターネットHP「クルマこどもサイト」に、「ハイブリッドカーゲーム」を新設。環境にやさしいハイブリッドカーについて、ゲームを楽しみながら学習できます。

http://www.toyota.co.jp/jp/news/07/Sep/nt07_053.html

●「2007年小学生自動車相談室」を開設【三菱自動車】

三菱自動車は、2007年9月3日(月)から11月30日(金)までの期間、「2007年小学生自動車相談室」をお客様相談センター内に開設しています。「小学生自動車相談室」は今年で15年目となります。質問・相談の内容は、会社概要、環境問題、車の安全性やメカニズムなど多岐にわたっており、近年では環境問題に対する社会的関心の高さから、同社の環境への取り組み(電気自動車など)に関する問い合わせが増加傾向にあります。

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/pressrelease/j/corporate/detail1670.html>

4. イベント情報

●中部・北陸信越 EST 創発セミナー

～地方自治体からはじめるモビリティ・マネジメント～

日時:平成19年11月8日(木) 13:30～16:30(13:00 受付開始)

場所:アクトシティ浜松コンgresセンター

主催:EST 普及推進委員会、中部運輸局、北陸信越運輸局

<http://www.estfukyu.jp/>

●九州 EST 創発セミナー

～地球温暖化、まちづくり、環境的に持続可能な交通～

日時:平成 19 年 11 月 21 日(水) 13:30～16:20(13:00 受付開始)

場所:ホテルセントラータ博多 フェスタ

主催:EST 普及推進委員会、九州運輸局

<http://www.estfukyu.jp/>

●中国・四国 EST 創発セミナー

～環境にやさしく、まちを元気にする公共交通利用促進～

日時:平成 19 年 12 月 6 日(木) 13:30～16:30(13:00 受付開始)

場所:岡山コンベンションセンター 407 会議室

主催:EST 普及推進委員会、中国運輸局、四国運輸局

<http://www.estfukyu.jp/>

●つくばエクスプレス開業 2 周年記念イベント「まちづくりシンポジウム」

～TX 沿線の可能性とアーバンデザイン～

日時:9 月 29 日(土) 13:00～15:00

場所:三郷市商工会館

主催:三郷市まちづくり事業推進課

<http://www.city.misato.lg.jp/Files/1/8798/html/hyhyy.htm>

●環境にやさしい新しいライフスタイルと交通

日時:2007 年 10 月 20 日(土) 13:30～16:00

場所:三郷市立瑞沼市民センター体育館

主催:環境省関東地方環境事務所・三郷市

<http://jsce.jp/event/>

●スマートウェイ2007シンポジウム(スマートウェイ2007同時開催)

日時:10 月 16 日(火) 10:00～13:00

場所:東京国際フォーラム

主催:国土交通省、国土交通省国土技術政策総合研究所、首都高速道路株式会社

<http://www.smartway2007.jp/ja/symposium/index.html>

●AHSシンポジウム(スマートウェイ2007同時開催)

日時:10月16日(火) 14:00~18:00

場所:東京国際フォーラム

主催:技術研究組合 走行支援道路システム開発機構

<http://www.smartway2007.jp/ja/symposium/index.html>

●土木学会セッション(スマートウェイ2007同時開催)

日時:10月17日(水) 13:00~16:00

場所:東京国際フォーラム

主催:土木学会

<http://www.smartway2007.jp/ja/symposium/index.html>

●ファミリー鉄道展 2007

日時:2007年10月20日(土)・21日(日) 10:00~16:00

場所:海老名電車基地内特設会場、海老名第3駐車場、ピナウオーク

主催:小田急電鉄株式会社

http://www.odakyu.jp/program/info/data.info/2993_4168743_.pdf

5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomor.jp(担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail:EST@ecomor.jp

ESTポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>